

No. 1490

コアラ来日

「動物親善大使」として日本・オーストラリアの友好のためにコアラ6匹が10月25日成田空港に「来日」しました。今回始めて東京・名古屋・鹿児島各動物園に2匹ずつ贈られてきたもの。東京・多摩動物公園には200人を超える報道陣の待ちうけるなか、「ブラック」と「オレンジ」のオス2匹が到着、金網の中からあいぎょうをふりまきました。コアラの暮らすコアラ舎は総工費5億5千万円をかけた大ドームの建物。採光・空調も完備。人工的に夜をつくり夜行性のコアラを昼間でも見られるように工夫してあります。パンダに負けずにコアラの育成に力を入れ将来は子供も増やそうと飼育スタッフは張り切っています。可愛いコアラの一般公開は11月20日からの予定です。

消えゆく山間の里

—岐阜県徳山村—

岐阜県揖斐郡徳山村は、山間に抜けた人口1600人余りの小さな村です。この徳山村がダム建設に伴い、全村が水没することになり10月10日、最後の村民運動会が徳山中学校の校庭で行なわれました。グラウンド上には保育園児からお年寄りまで約1000人の村人が集まりました。閉会式で斉藤村長は「来年は盛大な運動会が出来る見通しはない。きょう一日、思い切り楽しんで下さい」とあいさつ。このあとさっそく競技が始まりました。体育館では、8年間にわたって沈む村の姿を描いてきた名古屋短大教授の藤田孝屯さんの作品が展示され、村人たちがキャンバスに見入る様に見ていました。運動会が終るともう徳山村は冬仕度が始まります。そして村のあちこちでは家を取りこわし、村を離れて行く村人の姿が多くなっています。村ではこれまで半数以上が補償契約をすませており、ここ数ヶ月で村の人口は半数以下に減ってしまいます。そしてやがては、どの村もたどって来た様に徳山村もダムの底に沈むのです。